



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年2月4日

上場会社名 株式会社ホリプロ 上場取引所 東
 コード番号 9667 URL <http://www.horipro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 堀 義貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 安永 和男 (TEL) 03-3490-4601
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 14,919 | 2.3 | 1,575 | 57.5 | 1,717 | 48.7 | 965 | 177.9 |
| 22年3月期第3四半期 | 14,586 | △2.3 | 1,000 | △34.4 | 1,155 | △33.0 | 347 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 68.08 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 24.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 25,583 | 19,895 | 77.0 | 1,389.89 |
| 22年3月期 | 25,958 | 19,504 | 74.5 | 1,364.25 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 19,704百万円 22年3月期 19,341百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 5.00 | — | 19.00 | 24.00 |
| 23年3月期 | — | 7.00 | — | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 17.00 | 24.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

平成23年3月期期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,413 | 3.1 | 1,702 | 6.1 | 1,874 | 0.3 | 750 | 22.1 | 52.90 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期3Q | 14,182,800株 | 22年3月期 | 14,182,800株 |
| 23年3月期3Q | 5,779株 | 22年3月期 | 5,596株 |
| 23年3月期3Q | 14,177,143株 | 22年3月期3Q | 14,177,375株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 4 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 7 |
| (第3四半期連結累計期間) | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| 4. (参考) 個別財務諸表等 | 11 |
| (1) (参考) 四半期貸借対照表 | 11 |
| (2) (参考) 四半期損益計算書 | 13 |
| (第3四半期累計期間) | 13 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<全般の概況>

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、各種経済対策をはじめとする政策の効果等を背景に景気に持ち直しの動きが見られたものの、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念は残っており、先行きに慎重さが見られました。また、当業界を取り巻く環境も改善の兆しが見られるものの、依然厳しい状況が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、次世代のスターの発掘・育成を図り、根幹であるタレントマネジメントを軸に、そこから派生するさまざまなビジネスを拡大させ、映像、肖像、音楽等に関わる多くの権利を保有する「コンテンツホルダー」として、人々の心に夢や感動を提供するエンターテインメントの創造に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期の連結業績は、営業収入149億19百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益15億75百万円（同57.5%増）、経常利益17億17百万円（同48.7%増）、四半期純利益9億65百万円（同177.9%増）となりました。

<報告セグメントごとの概況>

出演事業においては、和田アキ子、片平なぎさ、榎原郁恵、船越英一郎などのベテラン勢による安定した活躍に支えられ、WOWOW連続ドラマW「幻夜」に主演した深田恭子、テレビ朝日日曜ナイトドラマ「霊能力者小田霧響子の嘘」の主演を務め、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」に出演した石原さとみ、映画「悪人」に主演し、第23回日刊スポーツ映画大賞主演男優賞を受賞した妻夫木聡、TBS連続ドラマ「おじいちゃんは25歳」に出演し、数々の舞台で活躍中の藤原竜也、ヴェネチア国際映画祭において世界の注目を集めた映画「ノルウェイの森」の主演を務めた松山ケンイチ、数多くのCM出演で人気急上昇中の向井理など、多くの若手タレントが着実に成長しています。

お笑いタレントでは、さまぁ〜ず、手相占いで話題の島田秀平、バナナマンなどが数多くのバラエティ番組で活躍しました。

この結果、当事業の営業収入は56億45百万円となり、営業利益は19億10百万円となりました。

映像事業においては、テレビ番組の制作では、NHK BShiプレミアム8「“愛と胃袋”～直木賞作家が食べて書くヨーロッパの田舎～」、「男前列伝」、フジテレビ金曜プレステージ「東野圭吾ドラマスペシャル探偵倶楽部」、テレビ朝日連続ドラマ「霊能力者 小田霧響子の嘘」、WOWOW連続ドラマW「幻夜」などを制作しました。

映画の制作では、「インシテミル 7日間のデス・ゲーム」を制作し、全国で上映され大ヒットとなりました。

コマーシャルの制作では、「東京ガス」、「青山商事イタリアンスーツフェア」、「江崎グリコ」、「タカラトミー ジェニー」、「トヨタ T-UP」など多くの作品を制作しました。

DVDの制作では、「スーパーカー伝説」、「日本名車伝説」、「安蘭けい 箱舟2010」、「藤原竜也 演劇の遺伝子」、「ネジと紙幣」など質の高い作品をリリースしました。

その他、配信分野においては、携帯専用放送局BeeTV「和田アキ子最強バトル! 2」、GyaO!やWiiの動画配信コンテンツなどを制作しました。

この結果、当事業の営業収入は34億30百万円となり、営業利益は3億14百万円となりました。

音楽事業においては、CDシングルでは、映画「インシテミル 7日間のデス・ゲーム」主題歌となったMay'nの「シンジテミル」、和田アキ子のクラシックの名曲をカバーした応援歌「人生はこれから」、透明感のある歌声が魅力の南波志帆「オーロラに隠れて」、HI LOCKATION MARKETS「ホライズン」、CDアルバムでは、浜田省吾「The Best of Shogo Hamada vol.3 The Last Weekend」、RAM WIRE（ラムワイヤー）のデビューミニアルバム「Beautiful World」、溝口肇のカバーアルバム「yours:Luxe」などが発売されました。

DVDでは、浜田省吾「僕と彼女と週末に」、南波志帆「こびと観察入門 こえをきかせて」、かりゆし58「かりゆしテレビ その2」等が発売されました。

また、音楽配信においては、歌うキッチンが「オニオングラタンスープのうた」で配信デビューし、2010年2月にCD発売後、バラエティ番組で話題となった、かりゆし58「オワりはじまり」の配信が40万ダウンロードを越える大ヒットとなりました。

この結果、当事業の営業収入は14億40百万円となり、営業利益は4億16百万円となりました。

公演事業においては、舞台公演では、蜷川幸雄の演出による男性俳優のみが出演する人気の“オールメール・シリーズ”企画彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾「じゃじゃ馬馴らし」の上演や、2003年、2005年の絶賛に迎え、亜門版ミュージカル「ファンタスティックス」を再々演しました。

コンサート公演では、藤原道山の「10th Anniversary コンサート」や、ソプラニスタ（男性でありながら女性ソプラノの音域をもつソプラノ歌手）岡本知高のコンサート「Concerto del Sopranista 2010」を全国で開催しました。

この結果、当事業の営業収入は20億93百万円となり、営業利益は1億5百万円となりました。

小売業においては、ファッション雑貨ショップ「ルートスター」やアクセサリを専門に取り扱う「エクスペリー」にて、トレンドに敏感な女性をターゲットにした魅力溢れる商品を、駅ビルを中心に全国で販売展開しています。

また、ベルギー生まれの世界的なカジュアルバッグブランド「キプリング」の日本総輸入販売元として、全国の

主要都市の店舗や百貨店、通信販売などで販売しました。

この結果、当事業の営業収入は22億38百万円となり、営業利益は51百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の概況>

当第3四半期連結会計期間末における資産は255億83百万円（前連結会計年度末比3億74百万円減）となりました。

流動資産は149億61百万円（同1億5百万円増）となりました。この変動の主なものは、現金及び預金の減少（22億90百万円）、受取手形及び営業未収入金の減少（5億4百万円）、有価証券の増加（28億99百万円）であります。また、固定資産については、投資有価証券の減少（2億34百万円）、保険積立金の減少（5億35百万円）等により106億21百万円（同4億80百万円減）となりました。

負債は56億88百万円（同7億65百万円減）となりました。流動負債は、支払手形及び営業未払金の減少（5億54百万円）等により50億64百万円（同3億94百万円減）となり、固定負債は、役員退職慰労引当金の減少（3億10百万円）等により6億23百万円（同3億71百万円減）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により198億95百万円（同3億90百万円増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は77.0%（同2.5%上昇）となり、1株当たり純資産額は1,389円89銭（同25円64銭増加）となりました。

<キャッシュ・フローの概況>

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して5億9百万円増加し、100億10百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は8億17百万円（前年同期比8億80百万円減）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上による増加（15億99百万円）、売上債権の減少（5億3百万円）、仕入債務の減少（5億69百万円）、法人税等の支払（5億28百万円）等が反映されたものであります。

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券の取得による支出（7億6百万円）、保険積立金の解約による収入（5億97百万円）等により67百万円（同1億95百万円減）となりました。

財務活動により使用した資金は、主として配当金の支払により3億79百万円（前年同期は2億66百万円の獲得）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年10月29日発表の業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

重要性が乏しい連結子会社においては、業績の著しい変化が発生しておらず、かつ、四半期財務諸表上の一時差異等の発生状況について前年度末から大幅な変動がないため、四半期財務諸表における税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に前年度の損益計算における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は23百万円減少しております。

なお従来、店舗閉鎖損失引当金として計上していた金額は、当会計基準等の適用により資産除去債務の一部として引き継がれております。

当会計基準等の適用開始時における資産除去債務の金額は76百万円であり、そのうち従来店舗閉鎖損失引当金として計上していた金額は26百万円になります。当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額はこの両者の差額として算出し、49百万円となっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,010 | 8,300 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 1,927 | 2,431 |
| 有価証券 | 4,697 | 1,798 |
| 商品 | 681 | 801 |
| 仕掛制作費 | 655 | 463 |
| その他 | 1,039 | 1,106 |
| 貸倒引当金 | △50 | △44 |
| 流動資産合計 | 14,961 | 14,856 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,569 | 2,431 |
| 無形固定資産 | 462 | 536 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,833 | 5,068 |
| その他 | 2,886 | 3,207 |
| 貸倒引当金 | △129 | △141 |
| 投資その他の資産合計 | 7,590 | 8,133 |
| 固定資産合計 | 10,621 | 11,101 |
| 資産合計 | 25,583 | 25,958 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 1,185 | 1,740 |
| 短期借入金 | 1,350 | 1,350 |
| 未払法人税等 | 393 | 367 |
| 賞与引当金 | 219 | 146 |
| 役員賞与引当金 | 87 | 89 |
| その他 | 1,828 | 1,765 |
| 流動負債合計 | 5,064 | 5,458 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 101 | 92 |
| 役員退職慰労引当金 | 314 | 625 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | — | 26 |
| 資産除去債務 | 94 | — |
| その他 | 113 | 250 |
| 固定負債合計 | 623 | 994 |
| 負債合計 | 5,688 | 6,453 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,583 | 4,583 |
| 資本剰余金 | 4,619 | 4,619 |
| 利益剰余金 | 11,114 | 10,517 |
| 自己株式 | △5 | △5 |
| 株主資本合計 | 20,310 | 19,714 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △241 | △60 |
| 為替換算調整勘定 | △364 | △312 |
| 評価・換算差額等合計 | △606 | △373 |
| 少数株主持分 | 191 | 163 |
| 純資産合計 | 19,895 | 19,504 |
| 負債純資産合計 | 25,583 | 25,958 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 営業収入 | 14,586 | 14,919 |
| 営業原価 | 10,524 | 10,417 |
| 売上総利益 | 4,062 | 4,502 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,061 | 2,926 |
| 営業利益 | 1,000 | 1,575 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 86 | 74 |
| 受取配当金 | 20 | 20 |
| その他 | 59 | 70 |
| 営業外収益合計 | 165 | 166 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9 | 7 |
| 為替差損 | — | 7 |
| その他 | 2 | 8 |
| 営業外費用合計 | 11 | 24 |
| 経常利益 | 1,155 | 1,717 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 14 | — |
| 店舗開店負担金収入 | 14 | 10 |
| 特別利益合計 | 29 | 10 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 173 | 7 |
| 役員退職慰労金 | — | 88 |
| その他 | 68 | 33 |
| 特別損失合計 | 241 | 128 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 942 | 1,599 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 225 | 554 |
| 法人税等調整額 | 350 | 47 |
| 法人税等合計 | 576 | 601 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 998 |
| 少数株主利益 | 18 | 32 |
| 四半期純利益 | 347 | 965 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 942 | 1,599 |
| 減価償却費 | 156 | 175 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 173 | 7 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 22 | △310 |
| 受取利息及び受取配当金 | △106 | △95 |
| 支払利息 | 9 | 8 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 972 | 503 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 18 | △71 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,115 | △569 |
| その他 | 238 | △0 |
| 小計 | 1,311 | 1,247 |
| 利息及び配当金の受取額 | 123 | 87 |
| 利息の支払額 | △9 | △7 |
| 法人税等の支払額 | △212 | △528 |
| 法人税等の還付額 | 483 | 19 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,698 | 817 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 300 |
| 有価証券の取得による支出 | — | △200 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 600 | 300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △78 | △237 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △157 | △32 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △190 | △706 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 100 | 124 |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 597 |
| その他 | △10 | △77 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 262 | 67 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額(△は減少) | 350 | — |
| 配当金の支払額 | △72 | △368 |
| その他 | △10 | △11 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 266 | △379 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2 | △27 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 2,225 | 477 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,848 | 9,500 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 32 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,073 | 10,010 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

| | 出演事業 (百万円) | メディア 事業 (百万円) | 音楽事業 (百万円) | 公演事業 (百万円) | 小売事業 (百万円) | その他の 事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------|---------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | 5,199 | 3,129 | 879 | 2,756 | 2,211 | 409 | 14,586 | — | 14,586 |
| 営業利益(又は営業損失) | 1,556 | 492 | 107 | 309 | (224) | (96) | 2,145 | (1,145) | 1,000 |

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業の種類別に事業部を配置し、各事業部は事業の種類別に芸能タレント等のマネージメント、映像制作、音楽制作、演劇等の公演、アクセサリー等の小売販売を主な内容とした事業展開をしております。

従って、当社は部門を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「出演事業」、「映像事業」、「音楽事業」、「公演事業」及び「小売事業」の5つを報告セグメントとしております。

「出演事業」は主にテレビ番組・演劇等へのタレントの出演、「映像事業」は主にテレビ番組、コマーシャルフィルム等の映像制作、「音楽事業」は主に音楽原盤の企画制作並びに音楽著作権の獲得・管理、「公演事業」は主にミュージカル等の演劇公演やイベントの運営、「小売事業」はアクセサリー・バッグ等の販売を取り扱っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 出演 | 映像 | 音楽 | 公演 | 小売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,263 | 3,389 | 1,436 | 2,070 | 2,214 | 14,375 | 544 | 14,919 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 381 | 41 | 3 | 23 | 24 | 473 | 39 | 512 |
| 計 | 5,645 | 3,430 | 1,440 | 2,093 | 2,238 | 14,848 | 584 | 15,432 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,910 | 314 | 416 | 105 | 51 | 2,798 | △31 | 2,767 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種スクール運営事業、ファンクラブ運営事業、ライセンス事業、劇場運営事業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 2,798 |
| 「その他」の区分の損失 | △31 |
| セグメント間取引消去 | △11 |
| 全社費用(注) | △1,180 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,575 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 個別財務諸表等

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,962 | 5,495 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 1,507 | 2,039 |
| 有価証券 | 4,697 | 1,798 |
| 商品 | 0 | — |
| 仕掛制作費 | 650 | 463 |
| その他 | 864 | 936 |
| 貸倒引当金 | △48 | △42 |
| 流動資産合計 | 10,635 | 10,690 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,444 | 2,320 |
| 無形固定資産 | 211 | 228 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,527 | 7,757 |
| その他 | 2,868 | 3,236 |
| 貸倒引当金 | △132 | △144 |
| 投資その他の資産合計 | 10,264 | 10,849 |
| 固定資産合計 | 12,920 | 13,398 |
| 資産合計 | 23,556 | 24,089 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 759 | 1,301 |
| 未払法人税等 | 320 | 314 |
| 賞与引当金 | 186 | 120 |
| 役員賞与引当金 | 80 | 82 |
| その他 | 1,467 | 1,374 |
| 流動負債合計 | 2,813 | 3,193 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 234 | 553 |
| 資産除去債務 | 46 | — |
| その他 | 114 | 254 |
| 固定負債合計 | 396 | 808 |
| 負債合計 | 3,209 | 4,001 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,583 | 4,583 |
| 資本剰余金 | 4,619 | 4,619 |
| 利益剰余金 | 11,346 | 10,909 |
| 自己株式 | △5 | △5 |
| 株主資本合計 | 20,543 | 20,105 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △196 | △18 |
| 評価・換算差額等合計 | △196 | △18 |
| 純資産合計 | 20,347 | 20,087 |
| 負債純資産合計 | 23,556 | 24,089 |

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期損益計算書

[第3四半期累計期間]

(単位：百万円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 営業収入 | 10,960 | 11,024 |
| 営業原価 | 8,637 | 8,521 |
| 営業総利益 | 2,323 | 2,503 |
| 一般管理費 | 1,237 | 1,258 |
| 営業利益 | 1,086 | 1,244 |
| 営業外収益 | 218 | 216 |
| 営業外費用 | 7 | 37 |
| 経常利益 | 1,296 | 1,424 |
| 特別利益 | 11 | 0 |
| 特別損失 | 301 | 125 |
| 税引前四半期純利益 | 1,006 | 1,299 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 149 | 444 |
| 法人税等調整額 | 353 | 48 |
| 法人税等合計 | 503 | 493 |
| 四半期純利益 | 503 | 806 |

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。